

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社 オーエッチラバー
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 女性の産休育休の取得率は高かったが、男性の育児休暇の取得がほとんどいない状況で、育児・介護休業法の改正に伴い、子育てしやすい環境を整えるために男性社員も育児休業を取得できる旨の案内を進めました。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 男性育休について社内掲示板への掲示など全社員が観覧できるようにし、男性社員も育休を取得できる案内を行った。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 課題：育児休暇取得にあたり就労人数の減少による人員不足 解決策・工夫した点：他従業員でのフォロー体制・人員を確保し 育児休業が取得可能な状態を作った。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 作業の見直し：現在の作業手順が正しいものなのか。個人によって作業方法が違うため、無駄な作業手順を洗い出すことにより作業時間短縮につながった。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 育児休業取得社員の仕事に関する情報の共有化しか行っていなかったが、作業の標準化を行い属人化しないよう誰が作業を行っても同じ加工ができるように仕事を進めている。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 15日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 子供との時間を作りたいと思ったからです。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 妻と一緒に子育ての楽しさと大変さを分かち合えたこと。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 作業内容の優先順位をつけて引継ぎました。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 子育ては、思い通りにならないことが多く臨機応変に対応していくことが必要です。仕事でも柔軟性を持って取り組んでいきます。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 子供の成長は、あっという間なので見逃さないように子供との時間を作ってください。</p>

(注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。